

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	一般社団法人 武蔵小杉エリアマネジメント パパママパークこすぎ
-----	------------------------------------

取組の名称	① パパママパークこすぎ ② ふらっとく
実施場所	① 小杉こども文化センター ② ニッセイ・ライフプラザ武蔵小杉
対象地域	武蔵小杉駅を中心とした各路線2駅までの範囲
対象地域の 特色・課題	再開発によって高層マンション（現在 13 棟 7,200 世帯さらに 3 棟建設予定）が建てられ、人口増加とともに子育て世帯と子どもたちの人数が年々増えてきています。マンションに居住する住民と地域住民との融合による「安全安心のまちづくり」「困った時に助けてくれる隣人がいるまちづくり」をめざし、コミュニティ形成に重点を置いた活動が必要性とされます。
取組の趣旨・目的	コミュニティ形成の中で親と子の育ちを応援します。 武蔵小杉駅周辺に居住する子育て世代・子どもたちの交流促進を図り、育児不安の解消や友達づくりができる安全安心な居場所としてパパママパークこすぎを利用して、若い世代が自分の地域に関心を持ち、助け合い支え合いができ “マンション特有の孤立した子育て家庭” にしないような関係性が持てる人と人の繋がりをめざします。
実施内容・実施スケジュール	

親子ふれあい交流

① パパママパークこすぎ (第2水曜日開催)

会場：小杉こども文化センター集会室

1部 10:00～10:50 ねんねクラス

2部 11:00～11:50 ハイハイ・あんよクラス

各クラス 10組 予約制 ※申込多数の場合は抽選

※小杉こども文化センターと共催事業 申込受付は小杉こども文化センターが担当します。

【内容】専門職によるミニ学習会、ママ's トーク (おしゃべり)、手遊び・絵本タイム、季節の行事、地域情報発信など。中原区役所地域みまもり支援センターに講師派遣依頼。

【ミニ学習会実施】

参加組数

月	講師職種	内容	1部	2部
4/10	管理栄養士	お口の成長・個別相談	12	4
5/8	絵本セラピスト	親子で楽しむ絵本時間	6	7
6/12	保育士	わらべうた・育児相談	6	7
7/10	保健師	熱中症対策・育児相談	7	9
8/14	絵本セラピスト	親子で楽しむ絵本時間	4	7
9/11	歯科衛生士	乳歯と歯みがき	9	9
10/9	保健師	育児相談	6	4
11/13	絵本セラピスト	親子で楽しむ絵本時間	9	11
12/11	管理栄養士	離乳食簡単レシピ	10	9
1/8	合同音楽会	ミモザちゃん♪音楽会	6	10
2/12	保育士	子どもの事故予防	8	9
3/12	さよなら音楽会	ピアノ鑑賞・手作り楽器で合奏・ハンドベル	12	16

合計 1部 (95組) 2部 (102組) スタッフ 75人

パパとママがホッとでき子どもたちが安心して遊べる居場所の提供、育休中に地域と繋がるよう様々な情報を発信。



② ふらっとく （第1水曜日開催） 5月1月休み
 会場：ニッセイ・ライフプラザ武蔵小杉 定員6組
 気軽にこどものことや地域の出来事などを自由になんでも
 おしゃべりができる交流の場。おしゃべりすることでスト
 レス解消やスタッフとのコミュニケーションを図ります。
 遊びのスペースでお子さんを遊ばせながら簡単なワークシ
 ョップや折り紙工作などを取り入れました。定員を少なめ
 にしてより近い関係づくりを目指しました。

【内容】

※5月・1月休み

月	内容	参加組数
4/3	ママ's トーク・離乳食、夜泣きの対応	2
6/5	歯科衛生士・栄養士による育児相談	4
7/3	ママ's トーク・七夕工作	2
8/7	ママ's トーク・プール遊びについて	3
9/4	ハザードマップについて	4
10/2	ワークショップ（手作りアルバム）	2
11/6	ママ's トーク・保育園申請について	4
12/4	ママ's トーク・うつぶせ寝について	3
2/5	ワークショップ（手作りアルバム）	5
3/5	ママ's トーク・生活リズムのつくりかた	7

合計 36 組スタッフ 32 人

☆中原区の施設やイベン案内・観光スポット紹介
 ニッセイ様よりハザードマップ・ライフプラン表のご提供
 がありました。



参加者の感想：月齢の近いママ同士、育児の悩みを共感し合
 えてホッとしました。アルバムづくり楽しかったです。

参加者の年代	2ヶ月～1.5歳 保護者 30～40歳	定員 (1回あたり)	各10組 (パパママパーク) 6組 (ふらっとく)
実施頻度	パパママパーク 月1回 12回×2部制 ふらっとく 月1回 10回 (5月1月休み)	活動日数 (年間)	40日
スタッフ体制	スタッフ10名の連絡調整はLINEを活用。 ・パパママパークこすぎ (2部制) 毎回6～7名 ・ふらっとく 毎回2～3名 小杉こども文化センター行事協力 担当1名 ☆スタッフの個人負担軽減のため役割分担制を導入 a. サロン司会進行役を当番制で全員参加 b. ボランティア出席調整・スタッフ連絡・情報発信等担当 c. サロン進行表・活動報告書・各種会議資料・申請書類等の作成担当 d. 会計・事務所問合せ窓口担当 e. 区役所子育て支援ネットワーク委員担当 ・スタッフ自身の健康管理を心掛ける ・情報共有 (スタッフLINEで活動報告) ・SNSを活用した広報強化: エリマネHP、マンションデジタルサイネージ、Twitter、Instagram、Facebookによる開催告知&活動報告などホットな発信をしました。		
連携する団体・ 連携の手法	・中原区役所地域みまもり支援センターとの連携により、専門職 (保健師、保育士、栄養士、歯科衛生士) を派遣していただき、育児相談や窓口紹介、地域情報発信など順調に進みました。 ・小杉こども文化センターとの共催事業で、パパママパークこすぎの知名度アップ・好立地により毎月広範囲から親子が参加しています。 ・絵本セラピスト&絵本講師の「親子で楽しむ絵本時間」が好評でシリーズ化しました。 ・小杉こども文化センター運営協議会委員として、会議・こどもまつり・大掃除などに参加協力しました。 ・中原区総合子どもネットワーク会議の委員として、行事や研修に参加協力しました。 ・なかはら子ども未来フェスタに参加し、パネル展示&冊		

	子掲載で活動紹介をしました。 ・エリマネホームページ、Instagram で開催告知と活動報告を迅速に行いました。 ・中原区役所と連携して、区役・発行子育て情報誌「このゆびと〜まれ」「地域子育て情報カレンダー」「区役所ホームページ」等で活動情報を発信しました。
取組実施により 見込まれた効果	人と人の繋がりのある温かいまち「困ったときに助けられる人がある」「安心できる居場所がある」等まちづくりの一環として 2008 年からパパママパークこすぎの活動を継続してきましたが、エリアマネジメントの組織変更により今年度をもって活動を終了することになりました。 これまでの 16 年間に 370 回開催しました。 さらに子育て環境の充実をめざして、あそびのひろば「親子パーク」や気軽におしゃべり「ふらっとーく」を増設して親子がもっと地域と繋がるきっかけの場づくりに貢献してきました。 これまでに親子、講師、スタッフ、関係者など述べ 23,000 人が参加いたしました。 ボランティアスタッフも 9 割がタワーマンション住民で、自ら地域でさまざまな活動に携わってまちづくりに貢献できる貴重な人材となりました。 パパママパークこすぎの活動から繋がった『地域の輪』を大切に、これからも一人ひとりができる子育て支援を継続していきたいと思います。長きに亘りパパママパークこすぎ活動にご支援いただき誠に感謝申し上げます。   2025.3.12(水) 10:00~12:00 370 回め 合同音楽会 最終回の様子です。 